

平成26年12月26日

三次市長 増田和俊様

三次市行政チェック市民会議

会長 森邊成一

平成26年度三次市行政チェック市民会議からの提言

当市民会議は、平成26年度において11月11日(火)、11月21日(金)の2回にわたって会議を開き、平成26年度に三次市が実施された行政評価について外部評価を行いました。

このたび別添のとおり評価結果をまとめましたので提言します。

<三次市行政チェック市民会議>

会長 森邊成一

副会長 藤田恒造

委員 山田知子

委員 渡邊なおみ

委員 木原孝行

委員 鶴本節子

委員 升井 紘

委員 弓掛 元

(順不同)



平成 2 6 年度

三次市行政チェック市民会議からの提言

平成 2 6 年 1 2 月 2 6 日

三次市行政チェック市民会議

## 1 はじめに

今年度，三次市行政チェック市民会議では，平成26年度に三次市が実施した7施策及び164事務事業の行政チェックの中から，特に重要と判断した2件の施策及び，11件の事務事業を選択し，市民の視点による外部評価を行いました。

以下に，当市民会議での評価結果を示します。

## 2 外部評価の対象施策及び事務事業

### 【施策】

ものづくり・商売に携わる人材の育成と起業促進（商工振興課）

《関連事務事業名》

職業訓練委託事業，女性・シニア起業支援事業，女性就労起業促進事業

住民自治の推進（地域振興課）

《関連事務事業名》

地域集会施設整備事業，自治振興活動費補助事業，がんばる地域支援事業，がんばる地域・産業施設整備支援事業，地域力向上支援事業，住民自治活動の推進（まちづくりサポートセンター）

### 【事務事業】

子育てサポート事業（育児支援課）

文化振興活動支援補助事業（社会教育課）

医療機器等整備事業（病院企画課）

地域包括支援センター運営事業（高齢者福祉課）

有害鳥獣駆除対策事業（農政課）

企業誘致推進事業（企業誘致課）

三次市街角E C Oステーション事業（環境政策課）

市道整備事業（土木課）

三次駅周辺整備事業（都市整備課）

給食調理業務民間委託（学校教育課）

新庁舎整備事業（特命プロジェクト推進部）

### 3 施策及び事務事業チェックの結果

施策及び事務事業チェックの結果は次のとおりです。

#### 【施策】

##### ものづくり・商売に携わる人材の育成と起業促進（商工振興課）

人材育成及び就労支援のために、行政が関与して職業訓練を行うことは、意義のあることと考えますが、求人内容と求職者ニーズにミスマッチがある状況のなか、求人が少ない職種に対して職業訓練を行い続けるのではなく、求人動向に対応した職業訓練を進めていくことが必要です。

また、「女性」や「シニア」に対する起業時の支援は充実してきていますが、今後は「若者」にも対象を広げること、また、起業後のフォローに留意することが必要だと思われます。そして、成功事例などは積極的に広報するなど、今後の広がりを期待します。

さらには、施策を展開する上で、商工会議所や広域商工会などの関係団体との連携は不可欠と考えますので、起業希望者の情報共有も含め、密接な連携をお願いします。

##### 住民自治の推進（地域振興課）

住民自治組織の役員構成を見ると、各団体の代表者など、縦割りの構図になっていると考えます。住民自治組織における担い手の高齢化・固定化は多くの地域で課題となっていますが、これまで構成員とならなかったような、テーマ型の団体やNPO法人、地域おこし協力隊のようなまちづくりに関心のある個人などが組み込まれる仕組みづくりが必要です。

また、住民自治組織が活動を行う財源として、交付金や補助金による支援は必要と考えますが、これとは別に、いわゆる縦割りで地域団体等へ補助金が交付されている実態があると思われます。これでは、地域で一体的な活動にはならず、本来、住民自治組織が担うべき「地域のまちづくりを担う代表機能」「地域住民の意思決定及び合意形成機能」といった機能効果を十分に発揮できません。今後ますます、地域

が一体となったまちづくりを進めていくことが求められるなかで、他市の事例を参考にしながら、総合的な補助金交付の方法の検討も必要だと考えます。

なお、支援にあたっては、行政依存にならないように気をつけるとともに、良い部分は伸ばしつつ、不十分なところは底上げを図るよう、地域の実情を踏まえたうえでの対応をお願いします。

## 【事務事業】

### 子育てサポート事業（育児支援課）

子どもの急な発熱などの際、対応に苦労される方にとって、こういったサポートがあれば安心です。一方で、提供会員と依頼会員との登録者数間に大きな差があり、ニーズはあるが対応しきれていないといった懸念がありますので、今後も広く周知を行い、市街地だけでなく周辺部も含めて、制度を利用しやすい環境づくりや雰囲気づくりに努めてください。

また、事件や事故の報道でも見られるように、預かる側に対する研修の時間や内容面でのいっそうの充実が必要です。さらに、来年度から始まる「子ども・子育て支援新制度」において、居宅訪問型保育というよく似た事業が新設されますので、利用料金の整合性に留意してください。

なお、三次市の合計特殊出生率が全国25位ということは喜ばしいことです。ぜひとも全国1位をめざしてほしいと思います。

### 文化振興活動支援補助事業（社会教育課）

補助金交付の対象として、三次市全体の文化振興に関わるもの、単発のイベントに関わるもの、団体の運営補助に関わるものなど、事業の対象範囲が異なるものが混在していることに疑問を覚えます。

また、補助金交付の適否については、審査の上、決定するとしてありますが、これまでも補助してきたから引き続き交付するのではなく、その審査基準を明確にし、毎年ゼロベースで審査する必要があると考

えます。

さらに、三次市文化連盟のように、広域にわたり補助対象事業を有する団体等については、より透明性の確保を求めます。

#### 医療機器等整備事業（病院企画課）

市立三次中央病院の医療体制の充実は、この地域に住む多くの人の幸せにつながります。また、島根県などからも患者が来られることから、広島県北とその周辺といった広域の拠点病院として、医療機器等の導入を積極的に推進していただきたいと思います。ただし、入札方法に関してはコスト削減の余地があるため、改善の努力をお願いします。

#### 地域包括支援センター運営事業（高齢者福祉課）

来年度4月から介護保険制度が改正され、地域包括支援センターの機能が強化されます。この「強化」により、センターにこれまでになかった機能が増えますが、現状の膨大な業務量のなかで、真に「強化」につながるのか懸念します。

したがって、地域包括支援センターへの人員体制に関わる大きな支援と、関係機関との連携方法を十分検討され、「強化」と言いながらも、あまりセンターに仕事が集中しないような形で、しかし十分に機能が発揮できる体制づくりを求めます。また、事務事業の評価としては、より積極的に、「拡大」の方向での検討を求めます。

#### 有害鳥獣駆除対策事業（農政課）

有害鳥獣による被害は深刻で、身の危険を感じている市民も少なくありません。この問題は、もはや三次市だけの問題ではなく、全国的な問題となっていますが、それでも市民としては対応が不十分であると感じており、従前の対策を続けるだけでなく抜本的な「強化」が必要と思われます。全体的に頭数が減少するような対策、人里と山を分ける間の環境整備、駆除までのスムーズな連絡体制の確立、地域住民による地域ぐるみでの対策への支援など含め、対策の強化を求めま

す。

また，駆除体制・駆除活動内容の見直しをされたのであれば，具体的に内容がわかるよう，チェックシートの記入方法についても改善してください。

#### 企業誘致推進事業（企業誘致課）

担当部署を設置し，人件費を含めて毎年約3,000万円という事業費の中で，多くの誘致活動を行っておられますが，実績が出ないことには市民の納得は得られません。企業の誘致が実現すると大きな経済効果が期待でき，また尾道松江線の開通により交通網は整備され，今後，西日本の需要も高まってくると考えられることから，大いに期待しています。

また，事業の成果としては，企業立地件数だけでなく，それに伴う波及効果・経済効果の額など，成果指標の工夫をお願いします。

#### 三次市街角E C Oステーション事業（環境政策課）

事業の実施にあたっては，年度末が近づくと，環境アドバイザーの学習会を開催して欲しいと催促があるなど，事業の形骸化が見られ，広報も不十分であることから，当該事業の認知度は低いのではないかと思います。その一方で，ゴミの分別が複雑でわかりにくいとの市民の声も少なくなく，アドバイザーへの研修の強化や，アドバイザーを通じての市民への啓発が必要です。

また，住民自治組織との関わり方としても，地域振興課が所管する住民自治組織への補助金等もあるなかで，縦割りではなく，市役所内の横連携が重要です。

さらに，現行の事業名からは，場所づくり・拠点づくりのような整備事業をイメージしますが，内容としてはソフト事業となっており，事業内容と事業名にミスマッチがあると考えます。

#### 市道整備事業（土木課）

整備路線の決定においては，一定の基準により優先順位が決められ

ているようですが，市民から見て優先順位がそれほど高くないと思われる箇所についても整備が行われることがあると感じています。したがって，整備路線の決定にあたっては，客観的な指標に基づいた，透明性の高いものであることなど，市民が納得できる理由が求められます。そして，本当に必要なところについてのみ事業を絞り込むことが大切です。

また，整備後の満足度など，何らかの形で効果の検証が必要と考えます。

#### 三次駅周辺整備事業（都市整備課）

チェックシートによると，情報発信やホームページの充実を図ることでしたが，工事現場には完成形を示した看板等がないため完成のイメージがしにくく，また，ホームページでは建物の説明はありましたが，どのような利用がなされるのかといった説明はなく，取組が不十分であったと考えます。

今後は，交通観光センターが観光客に対する新たな情報発信の拠点となるとともに，駅周辺の施設整備に付随するソフト面の充実を期待します。

#### 給食調理業務民間委託（学校教育課）

民間委託を実施する場合，直営の場合とのメリット・デメリットがきちんと整理されていることが重要です。今後，民間委託を進めて行くなかでも，教育的な側面，特に三次市の特徴でもある「ふるさとランチ」の取組のように，生産者・委託業者・学校（行政）が連携して食育を推進できるような体制は継続してほしいと考えます。

#### 新庁舎整備事業（特命プロジェクト推進部）

市役所は市民の財産です。災害対策の拠点機能はもちろんですが，会議室の貸し出しや，市民の憩いの場としての機能など，市民にオープンである必要があると考えます。また，三次が生んだ偉人等の展示など「三次らしさ」の工夫も大切だと思われれます。

#### 4 行政評価全体に対する意見等について

三次市の行政評価全体に対する意見としては次のとおりです。

- ・ チェックシートの「前年度の行政チェック結果に基づく対応」欄や、行政チェック市民会議提言への対応状況の報告においては、「 に努めます」「 を充実していきます」などの記載が多いですが、より具体的な記入を求めるとともに、具体的な記入が難しい場合は「例えば 」などの例をあげるなど、記入方法の改善を求めます。

- ・ 教育委員会社会教育課の進めるスポーツ振興施策，福祉保健部健康推進課のスポーツの普及施策，同部高齢者福祉課のすすめるスポーツ振興は，対象とする集団が異なるとはいえ，「スポーツの普及による健康作り」という共通の目標があります。また，教育委員会学校教育課が進める国際交流や語学教育の強化と総務部秘書広報課の進める国際交流の推進も，「国際交流」という共通のテーマがあります。

これらの施策を進めるにあたって，いわゆる庁内の縦割りを排して，推進担当者の一本化や，関係部課の連携・調整を通じて，施策を総合的かつ効率的に進める余地はないでしょうか。

これらの施策に限らず，施策評価の枠組を活用するなどして，縦割り行政を見直し，施策の総合的かつ効率的推進に努力する必要があると考えます。

- ・ 今年度の事務事業評価を通じて，27の事務事業が「終了」となりました。事務事業の実施年度を3年程度で区切り，惰性を排して，事業を見直し，打切りを行なうのは，行政の効率性や有効性を高める上で有効な政策手法だと思います。その際，二次評価のコメントにあるように，当初の目的に沿った成果をあげているかどうか「検証」を行ない，次年度以降については，「検討」する必要があります。本会議は，その検証が確実に行なわれること，可能な限り検証の結果が何らかの

形で、公表されることを希望します。また、類似の施策を新たな形で立ち上げる場合には、確実にその検証結果が踏まえられ、事務事業が立案・実施される必要があると考えます。

以上